

ピンジン平井の中国通信

G603 戦国時代にいよいよ本格突入??

皆様こんにちは～

先月に引き続き、今月もピンジン(平井)がご担当させていただきます。

さて、タイトルの「G603」の話へ行く前に先月の中国出張時のお話をひとつ。

皆様もご利用されたことがあると思います厦門空港ですが、**厦門到着後にスーツケースが壊れていた、なんていうトラブルが実際に起こった場合、皆様ならどのように対処なさいますでしょうか？**

機内に預けるスーツケースですが、取り扱いの雑な中国の航空会社では、投げたいする事があるのか、厦門空港のターンテーブルにつながる滑り台の角度があまりに急すぎるのか、稀に破損している事があります。

先日、厦門到着後の営業員のN君のスーツケースの足部分が、割れており、足は行方不明になっていました。……。



早速、荷物問合せセンターにクレームを言いに行くと……



厦門航空の職員が来て、何やら奥の方からごそごと大きな新品のスーツケースを取り出し……

「無償でこのスーツケースを差し上げます！」と渡してくれました！

使い倒した古いスーツケースを、新品のスーツケースに無償で交換してもらいご満悦なN君。

皆様も、もし厦門空港到着時にスーツケースが壊れていたら、その壊れたスーツケースを持って写真にある空港内の「荷物お問い合わせセンター」へお伝えくださいませ。新しいスーツケースに取り替えてもらえるかも！？

どんなスーツケースに取り替えてもらえるかは、福袋的なお楽しみ？？

気に入らないスーツケースが出てきても、たぶん聞き入れてもらえないかと思います…(笑)

さて、いよいよ、本題の「**G603**」についてです。

「**晋江 603**」の山が停止し数年が経ちました。これまで「G623」同様、各工場では、原石在庫を使ったり、原石市場から購入したいして対応してきておりました。しかし、各工場いよいよ在庫も尽きてきました。原石市場でも在庫が底をつき購入も出来ないので、延材、板材、環境材においては、「**晋江 603**」から石を代えなくてはならないようになりました。

(墓石工場ではまだ、在庫を持っているところがあります。当社の取引先墓石工場でも、3,000 才くらいの「**晋江 603**」原石在庫を所有している先を始め、各社に多少の在庫は御座いますので、墓石、外柵でのお話がございましたら、御確認の上ご注文お願い致します～！)

ご存知のように、「**元祖 603**」と言えば、もともとは、福建省の「**晋江**」(ジンジャン)というところから採れていた「603」を指していました。ゆえに「**晋江(ジンジャン)の 603**」と呼ばれており、これが、一般的な 603 でした。

しかしながら、最近では、「**晋江 603**」がなくなってきたので、採掘される土地の地名にちなんで「**惠安 603**」「**莆田 603**」「**江西 603**」「**湖北 603**」「**山東 603**」「**大連 603**」といった各地域の 603 似の石を工場は取扱っております。

さながら、戦国時代の群雄割拠を思い起こさせる(笑)、各地域の 603 です。

各武将の様に、それぞれ個性がありますが、果たして、どこの 603 が日本向けの覇者となるのでしょうか……？

603 の覇者となるための条件としては、先ず「**元祖 603**」に似ている事、そして、錆びの問題や黒、白玉の問題、また、価格も考慮しなくてはなりません。

そこで、**わたくしピンジン予想**として、今後メインプレーヤーになるであろう「**大連 603**」をご紹介します。

写真のように通常の「**晋江 603**」より少し目は細く、色も少し白いのですが、似ているので、そのまま「**晋江 603**」として販売している中国工場も…。



大連から船を使って運ぶので海上運賃分コストはかかりますが、目合いも似ており、難点も少ないことから人気があります。少し小さな茶点が入るのですが、これまで、工場での数年の実績からは、茶色が広がった事は無いようです。他の地域の603のように黒玉、白玉も少なく、扱いやすいです。

「大連 603」 今後、**白系の延材、板材、環境材**においてご紹介させて頂く事もあるかと思っておりますので、どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

最後まで読んで頂き有難う御座いました。本格的に梅雨に入り、これから暑さも本格化してきますが、どうぞご自愛くださいませ。

2017/07/01 ピンジン平井